算数科　　第４学年　　「倍の見方」

育成を目指す資質・能力　【課題発見・解決力】

《本時における学ぶ意欲が高まった児童の具体的な姿》
○倍を使って数量関係を考えることの効率性を実感し，日常生活の中から割合の考えを生かせる場面について考えている。

《本時における統合的な考え方》【拡張】
○数量関係を倍の考えを使って捉える場面を，数値を工夫したり，一度に三つの数量を比較させたりするなど広い範囲に適用して考えさせる。

新たな見方・考え方への広がり

算数を学ぶよさの実感

授業のながれ（全５時間　第４時）

○つかむ・見通す

包帯Ａと包帯Ｃがあります。ＡとＣではどちらがよく伸びるといえるでしょうか

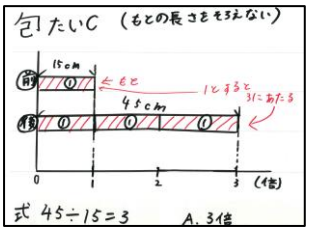
	のばす前	のばした後	のび
包帯Ａ	30ｃｍ	→ 60ｃｍ	30ｃｍ
包帯Ｃ	15ｃｍ	→ 45ｃｍ	30ｃｍ

既習の差による比較の仕方を確認した後，差による比較では解決できない場面を設定することで，新たな方法での課題解決に向けてのきっかけとし,問題解決への意欲を喚起した。

○学習課題

どちらがよくのびると言えるか，比べ方を考えよう。

○考える・学び合う



【倍の考えを使って比較している児童の考え】

【テープ図を用いて倍の考え方を説明する児童】

○学び合う　【拡張】

もとの長さを簡単にそろえることができない場合について考えさせ，倍を使った考え方の効率性に気付かせた。また，ＩＣＴ機器を活用し，テープ図や式を示すことで，「もとの長さをそろえる方法」と「倍を使う方法」の考え方の違いについて焦点化して考えさせ，まとめにつなげた。

○まとめ

もとにする大きさがちがうときには，倍（割合）を使ってくらべられる。

○適用問題・振り返り

適用問題は，学んだことが理解に結びついているか確かめることができるように，長さではなく，値段の上がり方で比べるようにした。授業後の振り返りには，今日の学習の解決過程を振り返り，倍の比べ方について整理させた。

児童の様子

実生活とのつながり

○既習の差による比較の仕方を確認したり，実際の包帯を提示して「伸びる」意味を実感させたりすることで，問題解決に向けてイメージもつ児童の姿が見られた。

思考のつながり

○既習の考え方では解決できない場面を設定することで，新たな方法での問題解決に向けて，意欲的に自力解決をしていた。

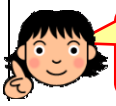
のばす前の長さをそろえれば，今までに習った方法で比べられると思うよ。

のばす前の長さをそろえなくても，比べられる方法があるかもしれないよ。

○自分の考えを発表用のシートに記入し，テープ図と式を対応させながら説明していた。

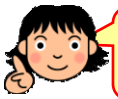
○倍を使った考え方の効率性に気付く意見が出た。

比べるものの数が多くても，倍を使うと比べられるね。



「倍を使う方法」は，もとにする大きさを１とみて比べているんだね。

思考のつながり



倍を使うと，もとの長さをそろえるより簡単に比べることができた。

倍の考え方は，子犬の体重の増え方を比べるのに使えそう。